

(特非) DIFAR

ボリビア多民族国パンパグランデ市における農薬容器を含む廃棄物リサイクルシステム導入

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

ロスネグロス地区での分別回収普及 **60%**

家庭用コンポストの普及 **94家族**

今年度計画の達成度 **95%**

目標達成度 **95%**



家庭用コンポストについての説明会を行った

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

家庭有機ごみと資源ごみの回収をはじめたが、車両の容量が小さく、一度に回収できないため、時間がかった。今後はごみ回収専用車両の導入も検討しなければいけない。

■工夫した点

家庭用コンポストには、省スペースでできるつぼ型と地面に直接おけるキエー口型の2種類を用意し、家庭の環境に合わせて適切なものを選んでもらえるように工夫した。

課題

年間約24tの農薬容器が排出されているが、啓発不足のため適切に処理されておらず、さらにごみの分別回収がされていないため、環境汚染と健康被害が懸念されている。

目標

農薬空容器回収と、ごみの分別回収を導入することで、パンパグランデ市の農地及び生活空間のごみによる環境汚染が減少する。

活動内容と成果

農薬容器回収については、コンスタントな回収を継続することができた。一般ごみの有機ごみ、資源ごみ回収については、ロスネグロス地区全体の6割が分別回収に参加している。学校における環境教育も継続して行い、街の清掃活動を企画して実施した。また、家庭用コンポストの普及も行った。

さらに、分別回収に全く取り組めていない近隣の市が、先に始めているバジェグランデ市やパンパグランデ市にならい、環境教育や分別回収を推進していくことを目的として、近隣市6市を含めたバジェ地域環境連絡協議会を発足することに成功した。



バジェ地域環境連絡協議会の発足

全助成期間の活動を振り返って

3年間の助成期間によって、パンパグランデ市中心部にゴミのリサイクルが根付き始めた。学校では生ごみ堆肥作りやゴミの分別回収が実施され、市場ではゴミの分別が根付いている。地道な啓発活動と定期的なキャンペーンの開催により、農薬容器の回収量も年々増加している。3年目から希望家族に家庭用コンポストの普及を行い、94家族が家庭で生ごみコンポストを実施している。



リサイクルセンターの見学に訪れた小学生

| 活動地域 |  南米・ボリビア

〒515-3421 三重県津市美杉町八知1383

E-mail : info@difar.jp

https://difar.jp



今後の
展望

住民の主体性を引き出しながら、農薬容器による環境汚染が減少される、ごみ埋立場に運ばれるごみを削減するという共通認識を持った人々を一人でも多く促し、住民一人一人の使う責任、捨てる責任を育成し、行政や企業と連携して持続的な対策をもって問題解決に努めていく。また、バジェ地域という広域圏において環境を改善する取組みを効果的に実施する。